

母校で講演後、生徒の質問に答える根本かおるさん=神戸市灘区域の下通1、  
神戸高校(撮影・後藤亮平)

国連職員になるには…

英語か仏語が話せることが必要。国連事務局や各機関の空席のある職種に申し込む。専門性と即戦力が求められ、せまき門。大学卒業で受験できる場合もあるが、多くは大学院修士以上の学歴が必要。外務省が国連機関に若手を2年間派遣(はけん)する制度(JPO)の経験者が多い。

気持ちの  
切りかえが大切

「今っぽ話」国連では精神的に過酷な現場で働くことも多いですが、いい仕事をするにはめりはりが大切です。私は落語が大好きなので、「今日は気持ちが張りつめてるな」と思えば、意識してCDを聞くなどします。時間があるときには寄席にも行



### 根本かおるさん(50)

(東京都)

ねもと・かおる 神戸大付属住吉中、神戸高、東京大法学部卒。米コロンビア大大学院修了。UNHCR、フリージャーナリストを経て、昨年から国連広報センター所長。

適性を  
チェック!

- 社会で起きていろいろな出来事に興味がある
- めげない強い心と健康な体
- いろいろな国の人に関わっていく

UNHCRをやめたのは、東日本大震災がきっかけです。原発事故で、ふるさとを出なければならぬ「国内避難民」が生まれました。海外で難

難民から教えられることがあり多かったから。ネパールの難民キャンプでは難民たち自身が子どもに読み書きを教えた。逆境をはね返し、国連職員になつた難民もいます。悲劇をなげて支援を待つだけではなく、過酷な状況を生きぬく姿に、生きることを学びました。

(聞き手・小屋絵生)

## 「自分らしく生きられる社会」を目指す



東京の国連広報センターには、世界で起きている出来事や問題の情報が、毎日山のように届きます。その中から、日本の人々が関心を持ちそうな事柄や、知つてもらいたいニュースを選び出し、日本語に直して発信していくのが仕事です。今の仕事に就く前に、は、国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)で約15年間働きました。宗教や人種、政治的な信念などを理由に迫害され、自分の国から逃げな

ればならなくなつた人々を難民と呼びます。家や家族、仕事など、日常生活をうばわれた難民を保護し、帰国やほかの国へ移り住む手伝いなどをします。

大学卒業後、テレビ局でアナウンサーや政治記者をしていました。専門性を身に付けようと米国に留学し、ネパールのUNHCRでインターナンとして働いたのが転機になりました。アフリカ中部にあるブルンジという国で、隣

の国に逃げていた難民の帰国を手伝う仕事をしていました。急な治安の悪化で、帰国者がついにゼロになってしまった。「私は何でここにいるんだろう」とむなしさがこみ上げました。同僚が襲撃されて亡くなつた経験もあります。

たが、続けられたのは、難民から教えられることがあり多かつたから。ネパールの難民キャンプでは難民たち自身が子どもに読み書きを教え、教員を育てていました。逆境をはね返し、国連職員になつた難民もいます。悲劇をなげて支援を待つだけではなく、過酷な状況を生きぬく姿に、生きることを学びました。

民を支援してきた経験を日本で役立てたい、生きることをあきらめない難民から教えられることがあまりに多かつたから。これからも力をつくしたいと思つています。



国連の役割を説明した子ども向け資料や講演に使う資料など

### 59 国連職員

週刊

まなび

世界の出来事を国内に発信